

# 〈ケア〉を考える会 (第111回)

■日時：2017年 **2月12日** (日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2  
山科駅より東 徒歩3~4分の民家  
(山添)(安朱保育園 東隣)



■当日の大まかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等

13:30~ ⇒ 学習会(読書会)

15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガなども)

17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了

(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 学びの会：読書会

『**老人ホームで生まれたたとつとつダンス**』

**ダンスのような、介護のような』 砂連尾理 著(晶文社)**

(2) 懇親会……食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

※懇親会参加者で実費(1000円程度)ご負担願います

★参加申し込み、問い合わせ、メーリングリスト登録希望

⇒ 林まで：[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com) 090-5366-1497

★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。定員20名程度。

本を読んでなくても(持ってなくても)気兼ねなく参加できます。

(読んできてほしいけど……)。



老人ホームで  
生まれた  
〈とつとつダンス〉

ダンスのような、介護のような

砂連尾 理

ダンスが介護の新たな可能性をひらく!

実践「砂連尾メソッド」をイラスト付きで収録

「わかる」ことで消えてしまうものがたくさんある。「わかる」より大事なのは、驚き、とまどい、思わずさわりにいきたくなること。

鷲田清一(哲学者)



晶文社  
[評議・エッセイ]

ご無沙汰しています。西川勝です。  
2月12日の会には、ぜひ参加させてもらいます。  
とつとつダンスの魅力について語り合しましょう。  
砂連尾さんにも伝えておきます。

わたしたちはじぶんのいのちが他のいのちとの交換のなかにあることを知らされる。

(鷲田清一『老いの空白』P.227)

ひととひととの関係において重要なのは、各人が主体的にどのようにしようとしているかではなく、いつとはなしにお互いが心を開いてしまっているという事態である。

(池上哲司『傍らにあること』P.169)

おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。

対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。

(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「〈ケア〉を考える会」ホームページ  
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会-岡山」  
<http://okayama-care.jimdo.com/>